

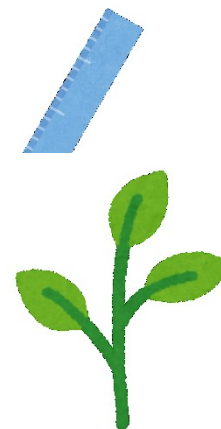
〔セクションⅡ〕 授業力レベルアップ

学習評価

～評価規準の設定～

1 特別支援学校における学習評価

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においても、学習指導要領に示す目標の実現の状況を判断するよりどころとして、評価規準を作成することが必要である。

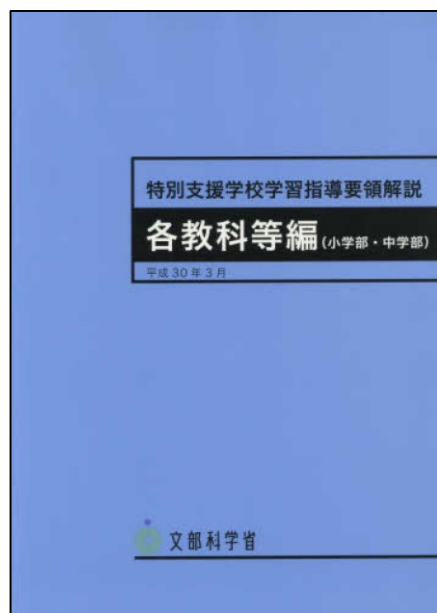


各教科等の指導に当たっては、特別支援学校において、幼児児童生徒一人一人の指導目標、指導内容等の明確化のために個別の指導計画を作成することとなるが、その際、各学校において定める各教科等の評価規準の内容を指導目標、指導内容等の設定に活かすことが考えられる。

2 内容のまとめりごとに資質・能力を育成

平成29年改訂学習指導要領においては資質・能力の三つの柱に基づく構造化が行われたところであり、基本的には、学習指導要領に示す各教科等の「2 各段階の目標及び内容」の「(2) 内容」において、「内容のまとめり」ごとに育成を目指す資質・能力が示されている。

「特別支援学校小学部・中学部 学習評価参考資料」文部科学省（令和2年）



「内容のまとめり」

中学部 保健体育科 (2) 1段階の目標と内容 イ 内容

G ダンス

ダンスについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすること。

イ ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。

ウ ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすること。

例：単元の目標

中学部 保健体育科 「ダンス」の単元目標

単元の目標		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・ダンスの行い方が分かり、ステップや振り付けを身に付ける。	・ステップや振り付けの得意・不得意に気付き、ダンスの内容を考えたり工夫したりしたことを友達に伝える。	・ダンスに進んで取り組み、友達の発表後に、次のダンスにつながる感想を伝える。

3 内容のまとめりごとに評価規準を作成

「(2) 内容」の記載はそのまま学習指導の目標となりうるものである。学習指導要領の目標に照らして観点別学習状況の評価を行うに当たり、児童生徒が資質・能力を身に付けた状況を表すために、「(2) 内容」の記載事項の文末を「～すること」から「～している」と変換したもの等を本参考資料において「内容のまとめりごとの評価規準」と呼ぶこととする。

「内容のまとめりごとの評価規準」



例：単元の指導計画

※単元～「教材や学習活動を主題ごとに関連をもたせ、一定の教育目的のためにひとまとめにされた学習計画」

中学部 保健体育科 「ダンス」の単元の指導計画

時	主な学習活動	目 標	評価の観点		
			知	思	主
1	脚のステップや腕の振り付けの練習	脚のステップや腕の振り付けが分かり、踊ることができる。	○		
2	踊る曲、ステップや振り付けの選択、決定	踊る振り付けの選択や決定で、考えを持ち、意見を言う。		○	
3	振り付けの練習①	振り付けの出来映えや変更点などについて考えを持ち、意見を言う。			
4	振り付けの練習②				
5	振り付けの確認	脚のステップや腕の振り付けを決めたとおりに踊ることができる。	○		
6	コンテスト①	発表を見て、感想を言う。			○
7	振り付けの変更、改善	コンテストを振り返り、振り付けの変更、改善に考えを持ち、意見を言う。		○	
8	振り付けの練習③	脚のステップや腕の振り付けを決めたとおりに踊ることができる。	○		
9	振り付けの練習④		○		
10	コンテスト②	発表を見て、感想を言う。			○

4 学習評価の基本的な考え方

学習評価とは・・・

学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するもの

- 子供たち自身が自らの学びを振り返って、次の学びに向かうことができるようにする。
- 「子供たちにどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図る。

指導と評価の一体化

評価場面や
評価方法の計画

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」 中央教育審議会（平成28年）

例：単元の7時間目の評価規準

中学部 保健体育科 「ダンス」の単元の指導計画

時	主な学習活動	目 標	評価の観点		
			知	思	主
1	脚のステップや腕の振り付けの練習	脚のステップや腕の振り付けが分かり、踊ることができる。	○		
2	踊る曲、ステップや振り付けの選択、決定	踊る振り付けの選択や決定で、考えを持ち、意見を言う。		○	
3	振り付けの練習①	振り付けの出来映えや変更点などについて考えを持ち、意見を言う。			
4	振り付けの練習②				
5	振り付けの確認	脚のステップや腕の振り付けを決めたとおりに踊ることができる。	○		
6	コンテスト①	発表を見て、感想を言う。			○
7	振り付けの変更、改善	コンテストを振り返り、振り付けの変更、改善に考えを持ち、意見を言う。		○	
8	振り付けの練習③	脚のステップや腕の振り付けを決めたとおりに踊ることができる。	○		
9	振り付けの練習④		○		
10	コンテスト②	発表を見て、感想を言う。			○

例：単元の評価規準

中学部 保健体育科 「ダンス」の単元の目標及び評価規準

単元の目標		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・ダンスの行い方が分かり、ステップや振り付けを身に付ける。	・ステップや振り付けの得意・不得意に気付き、ダンスの内容を考えたり工夫したりしたことを友達に伝える。	・ダンスに進んで取り組み、友達の発表後に、次のダンスにつながる感想を伝える。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ダンスの行い方が分かっている。 ・ステップや振り付けを身に付けている。	・ステップや振り付けの得意・不得意に気付き、ダンスの内容を考えたり工夫したりしている。 ・考えたり、工夫したりしたことを友達に伝えている。	・ダンスに進んで取り組み、友達の発表後に、次のダンスにつながる感想を伝えようとしている。

5 評価場面と評価方法の計画

本時の評価規準

- ・自分が好きな動きをダンスに活かせるように新しい振り付けを考えたり、自分の考えを他者に伝えたりしている。
(思考・判断・表現)

生徒が考えている姿や表現している姿を見取る

評価場面	評価方法
・教員との会話 ・友達との話し合い活動 など	・発言内容 ・話す際の表情や身振り など

6 授業改善につながる学習評価とする

評価規準・・・学習指導要領に示す目標の実現
の状況を判断するよりどころ



指導と評価の一体化を図るために

① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと

② 教師の指導改善につながるものにしていくこと

③ これまで慣行として行われてきた
ことでも、必要性・妥当性が認めら
れないものは見直していくこと

今日、友達とたくさん
話した人？



学習評価
として妥当？

＜知的障がい教育における学習評価の課題＞

何をどう評価するか、教師間で共通理解がされていないことから、授業においても評価が曖昧になり、児童生徒の学習状況を適切に把握することができない。

「国立特別支援教育総合研究所研究紀要」（2016）



児童生徒の資質・能力を育成するために、
目標に準拠した評価により、一人一人の学習状況を見取り、
児童生徒の学習改善や教員の指導改善につなげること。

単元の目標を基に、単元の評価規準を
作成してみましょう！

演習

「単元の目標から単元の評価規準を作成する。」

単元の目標		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・	・	・



単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・	・	・